

商店街におけるCO2センサーのデモンストレーション結果について

目的

- 特に三密対策が求められる商店街内の飲食店等に安心して来訪いただけるよう、府のモデル商店街における感染症対策の一環として、国が推奨するCO2センサー設置のデモンストレーションを実施。
- その成果を広く情報発信し、安心して買い物ができる商店街の浸透に繋がった。

1. 実施場所

商店街内の40店舗で実施

- ・ 天神橋三丁目商店街（北区）
- ・ 戎橋筋商店街、難波センター街商店街（中央区）
- ※ 11～12月の時短要請対象区域であることを踏まえた選定
- ※ 商店街組合を通じて実施店舗への協力を要請

2. 実施内容

R2/12/19～（センサーは現在も設置）

●CO2センサー設置

- ・ 各商店街が選定する店舗にCO2センサーを設置（府の感染防止宣言ステッカーの登録を条件とする）
- ・ 設置や換気を見える化するための啓発サインを掲示

●来街者への啓発ちらし配布等

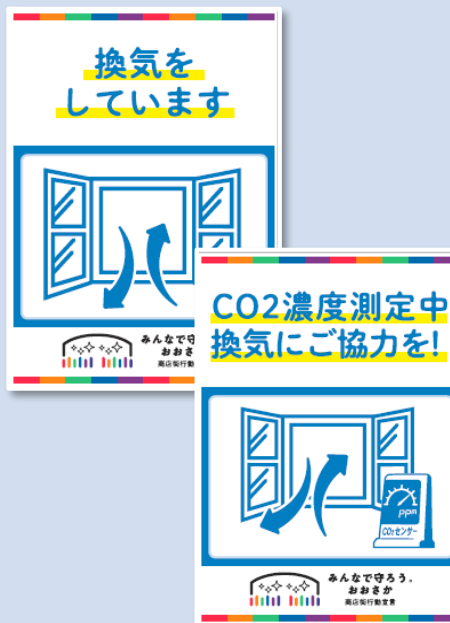
- ・ CO2センサー設置や換気的重要性をPR
- ・ 各店舗へのアンケート調査を実施

3. アンケート結果

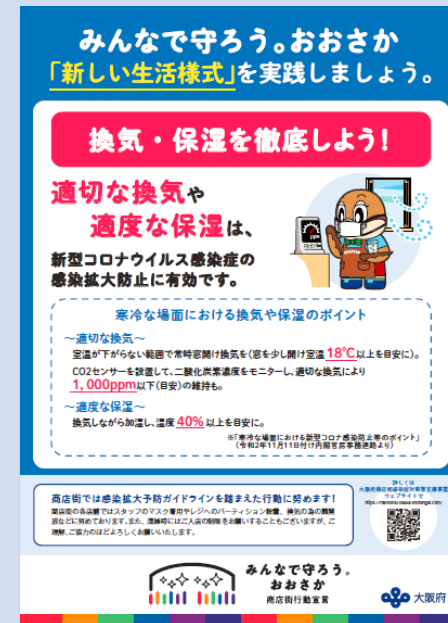
R2/12/25公表

目あの認知度	Q1.国が示している適切な換気（CO2濃度1,000ppm以下維持目安）や適度の保湿（湿度40%以上目安）について、知っていましたか？	→	約9割が、今回認知
換気等の実施	Q2.今回、適切な換気や適度の保湿の確認や実施につながりましたか？	→	約9割が、つながったと回答
主な意見	「商店街をあげて感染症対策に取り組んでいることを発信できた」 「数値が見えるのでありがたい」「適切な換気で安心な店作りにつなげたい」など		

啓発サインの例



啓発ちらしの例



寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント

1. 基本的な感染防止対策の実施

- マスクを着用
(ウイルスを移さない)
- 人と人の距離を確保
(1mを目安に)
- 「5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を参考に
- 3密を避ける、大声を出さない

2. 寒い環境でも換気の実施

- 機械換気による常時換気を
(強制的に換気を行うもので2003年7月以降は住宅にも設置。)
- 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で
常時窓開け(窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！)
また、連続した部屋等を用いた2段階の換気やHEPAフィルター付きの空気清浄機の使用も考えられる
(例：使用していない部屋の窓を大きく開ける)
- 飲食店等で可能な場合は、CO2センサーを設置し、二酸化炭素濃度をモニターし、適切な換気により
1000ppm以下(*)を維持
*機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。

3. 適度な保湿(湿度40%以上を目安)

- 換気しながら加湿を
(加湿器使用や洗濯物の室内干し)
- こまめな拭き掃除を

『5つの場面』

- 場面1：飲酒を伴う懇親会
- 場面2：大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面3：マスクなしでの会話
- 場面4：狭い空間での共同生活
- 場面5：居場所の切り替わり



CO2センサー